

西光寺だより

第二〇一号 平成三二年一月一日発行

明けましておめでとようございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は『災』という一文字で表わされたように、自然災害の年でありました。改めて普通に生活できていることのありがたさを、特別な日々として受け止めることであります。

今年はそのような年になるでしょう。昭和という時代は約六四年間続き、平成は約三二年でありました。今年は新たな元号でのスタートでもあります。人生は誰と出会い、何と出会い、そして何を選択するかで左右されるといわれています。一期一会の思いの中に、今年一年の目標をいくつか決めながら進んで行くのもいいのかもしれませんが。普通に過ごす日々を何もなくても尊いと感じれるよう皆様とともに進んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

さて、今年も一月九日～十六日まで西本願寺で御正忌報恩講がお勤まりになります。今年は今までは異なり去年十二月十七日に国宝「本願寺阿弥陀堂」内陣修復により御影堂正面に阿弥陀如来様がご遷仏(ご移動)になられ、親鸞聖人御真影を御影堂内陣北脇壇にご動座(ご移動)されました。ご遷仏は、昭和五五～五九年にかけて行われた前回の阿弥陀堂の修復以来三四年ぶり。一つの御堂を両堂体制とした「総御堂 そうみどう」様式とは異なる新たな荘厳形態となる非常に珍しい状態になってあります。工事終了までの二〇一八年十二月十八日～二〇二二年三月末までの間、御影堂ですべての法要・行事が行われますので、是非お時間のある方は一度西本願寺まで足を運んでいただけたらと思うことであります。

寒い日が続きますが、皆様お体ご自愛していただきながら、共に過ごしたいと思っておりますので、皆様お体ご自愛していただきながら、共に過ごしたいと思っております。



阿弥陀如来立像は唐櫃（からびつ）に寝かせるように収められ、御影堂へ移動。

◆先月の報告◆

①十二月十日(月)～十一(火)まで茨木東組念仏奉仕団に行つて参りました。この時期の西本願寺は、非常に寒かったです。お天気にも恵まれ心地よく清掃奉仕ができました。

今回茨木東組での参加、三十回目という事もあり表彰され、今後も続けていけるようどうぞよろしくお願いいたします。



②十二月三十一日（月）西光寺鐘楼にて除夜の鐘を撞きました。六月の大阪北部地震の傷跡が残る中、あたりまえではなく特別な思いで毎年の恒例行事を味わうことができました。来年の年を思いながら。



除夜の鐘
ひとつきごとに
お念佛

③一月一日（火）西光寺本堂にて元旦会法要を厳修致しました。皆さんと共に正信偈のお勤めをさせていただきました。

今年初めの西光寺での法要。昨年は色々なことがありましたが皆さんのおかげにより無事終えることができましたこと感謝の思いでございます。

しかし、まだ傷跡がある所もありますが、それを見る度に忘れてはならない特別な思いを感じることでもあります。

そして元旦会でも話しましたように、この一年の目標や決意を、書き初めではないですが、ノートの端でも構いません、鉛筆でもよいので色々と書いてみてはいかがでしょう。それをする事で、また違う一年を過ごすことができます。健康でも経済的なことでも、家族や友人。自分なりの目標ややりたいことなど、実際に書いてみるといっぱいでくるかもしれないかもしれません。そして今年の年末、達成できたかどうか振り返ることができ、自分自身を見つめる

事が出来るのであります。（全然変わりたくなければ変わらざるまで通りの自分、でも良いです）自分で考え、書くということがポイントであります。誰かに見せるわけではないので。
是非やってみてはいかがでしょう。それぞれの一年の過ごし方があり、今までの、年をとるから年を重ねる生き方にお互い感謝したいと思うことでもあります。この思いを持てるからこそ、人間は向上していけるのかもしれない。
合掌



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺
大阪府茨木市西河原一七七一
電話 〇七二一六二二一四七九四
FAX 〇七二一六二二一九二九一
<http://www.osaka-saikouji.net/>